

CHAdEMO 協議会 第22回 整備部会 議事録

日時 2014年7月18日(金) 13:30 ~ 16:40

場所 東京電力株式会社 電気の史料館 ミュージアムホール

出席者 参加団体：73(団体), 参加者数：98(名)

1. 議題

(1) 日産 EV 初の商用車「e-NV200」について ~ 日産自動車 ~

- ・ 日産自動車 LCV事業本部 ものづくり本部 舘野氏が EV 初の商用車「e-NV200」についてプレゼンを行なった。
- ・ アピールポイントは次の4点である。
 - ① ゼロ・エミッション“ビジネスの発展と環境対応の両立”
 - ② 走る蓄電池“パワープラグでいつでもどこでも電力供給“
 - ③ ストレスフリー“快適な運転性と広い室内空間”
 - ④ 経費削減“圧倒的な低ランニングコスト“
- ・ e-NV200 の特長を活かせるターゲットとして、走行距離が比較的短い地域密着型ビジネスと考えている。
- ・ 実用化にこだわりの設計ポイントは次の3点。
 - ① ガソリン車からの乗り換えでも違和感ない運転を実現
 - ② 実航続距離を伸ばすための工夫
 - ③ ストレスなくエコ運転を実現

(質疑・応答)

質問：ガソリン車と比べて車両重量は増加しているのか？大きさは？

回答：ベースのガソリン車 2t に対して EV は2.25t 主に電池重量による。足回り、ステアリングを強化している。

質問：大きさは？

回答：車高は変わらず。車幅も変わらないが、電池スペースのためにタイヤ位置が広がっている。

質問：ギアの切替はできるか？

回答：ギアは変えられない。走行モードはソフトウェアで制御する。

質問：リーフは電池劣化70%を保証していると思うが、同じ保証がある？

回答：同じである。

質問：容量は表示されるか？

回答：メータ内に SOH(劣化状態), SOC(残容量) の両方表示している。

質問：5年以上の保証はあるか？

回答：していない。

質問： パワープラグシステムは欧州でも搭載されているか？

回答： 現状ではしていない。

質問： 電池は日本製か？

回答： セルをサンダーランド(英国)で生産し、バルセロナ(スペイン)で組み立てている。

(2)EV to EV 急速充電器 “ORCA Inceptive”について ～ マイダス・ラボ ～

- ・ マイダス・ラボ 代表取締役 河島氏より ORCA Inceptive の紹介があった。
プレゼン終了後、実際にLEAFから別のLEAFに急速充電するデモンストレーションを実施した。
- ・ ORCA Inceptive のコンセプトは、
 - ① 電気自動車が電欠した際、その場に出向き、応急充電を行う電欠レスキュー
 - ② ガソリン車に頼らない電気自動車による電気自動車の為の電欠レスキュー
- ・ 製造元の Andromeda Power 社には 据付型、 モバイル型、 レスキュー型などのシリーズ製品がある。



(質疑・応答)

質問： 元の充電器はAC入力であるから、それを使って外部入力から自分自身のEVに急速充電することもできるのではないか？

回答： 技術的には可能だが、実用面では200Vの大容量電源を探すより急速充電器を見つけるほうがはるかに容易である。

質問： 貴社自身でレスキューサービスをビジネス展開するのか？

回答： しない。JAFや自動車ディーラーなどにシステムを供給することを考えている。

質問： サービスの実績はどれくらいあるのか？

回答： 製品が日本に来たのが先月で、実績はまだない。

質問： 国の補助金の対象か？

回答： 交渉中である。

質問： LEAF以外のEVでも使えるか？

回答： CHAdeMO で公開された V2Hガイドラインに準拠したEVがこれから出てくれば利用可能。今後の拡大

を期待している。

(3) 次期 VICS サービスと EV 施設情報の提供 ～ 道路交通情報通信システムセンター ～

- ・ 一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) 調査研究部 松井氏より、次期 VICS サービスと EV 施設情報の提供についてプレゼンがあった。
- ・ NHK の文字放送終了に伴って、来年春から FM で伝送する情報量を倍に拡大し新たな情報を提供する。
- ・ 新たに提供する情報として、プローブ情報を活用した渋滞・旅行時間情報の拡充や緊急災害情報の提供に加え、急速充電器の利用状況など動的情報を提供することも考えている。
- ・ ITS 世界会議 2013 のアンケートでも EV 施設情報へのニーズが認められた。
- ・ 新サービスの具合的な設計はこれからである。CHAdeMO 参加企業との継続的な意見交換・連携をお願いしたい。

(質疑・応答)

質問: CHAdeMO 協議会としても、これまで急速充電器の満空情報を求める多くの利用者の意見を聞いており、VICS による情報提供に期待する声は大きいと思う。実際に多数の急速充電サービス事業者が情報提供を希望した場合、これまでとは別の新しいオンラインデータ提供ルートができるということか？

回答: 具体的なシステム設計はこれからのだが、新たにインターネットなどを介してサーバにデータを提供できるようなインタフェースを構築する可能性もある。

(4) ジャパン EV ラリー白馬 -ギネス世界記録に挑戦！～ 日本EVクラブ～

- ・ 日本EVクラブ代表 舘内氏よりイベントの紹介があった。
- ・ 昨年、「チャデモで行く日本一周 EV スーパーセブン急速充電の旅」の企画を実施した。CHAdeMO メンバーの皆さんからはたくさんのご支援をいただき感謝申し上げます。
- ・ 手作りでも小容量の電池しか積んでいないスーパーセブンEVが日本一周できるくらい充電インフラが整いつつあるが、EV購入を考える潜在ユーザには、この事実が認知されていないと感じている。
- ・ 今回提案するイベントは単にEVでラリーをするということだけでなく、EVの購入を多少なりとも考えている人たちに、現ユーザがEVの楽しさを伝えるアンバサダーとなってEV普及拡大につながるような効果をねらっている。
- ・ 今年5月ドイツからスイスにかけて行なわれた ラリーイベント “WAVE TROPHY 2014” で 507 台のギネス記録を作られてしまった。充電インフラでは欧州など比べ物にならないほど充実している日本としてはこれを更新して面目を保ちたいが、500台を超えるEVを白馬に集結させるには経路の充電渋滞に十分な対策が必要である。具体的には次のような対策を準備中である。

- 1) 到着時刻の分散
- 2) 急速充電器の利用マナー向上を啓発するなどのソフト面での対策
- 3) 参加者が宿泊するホテル・ペンションに200Vコンセントを整備
- 4) 目的地の Hakuba47 駐車場に急速充電器と 50～70 台の200Vコンセントを用意

9月7日には次世代自動車振興センターが主催する EV・PHV 試乗会&ワークショップ が同時開催される。

- ・ まもなく日本EVクラブのホームページから参加申込書をダウンロードできるようになる。多くの皆さんの参加を

お待ちしている。

2. 事務連絡

～ CHAdeMO 事務局 ～

(1) 急速充電器の接地工事に関する要件緩和

平成 25 年度実施の, 急速充電器の接地工事に関する技術基準適合性に関する報告書が経産省ホームページに公開されました。詳しくは下記のURLを参照のこと

http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2014fy/E003698.pdf

(2) 日経スマートシティウィーク出展のご案内

日経 BP 社より展示会出展のご案内があった。昨年までも CHAdeMO 協議会として共同ブースを出展したものと同一形で以下のように開催する。

期間：2014 年 10 月 29 日(水)～10 月 31 日(金)

会場：パシフィコ横浜

出展費用：10 万円/コマ

(3) 情報提供

本日 VICS センターより発表のあった次期VICSサービスとEV 施設情報の提供に関連して九州大学のチャレンジ&クリエイション(C&C)プロジェクトで開発中の急速充電スタンドで「満・空」情報の取得に利用できる車両認識センサの情報提供を受けた。本件に関心のある方は資料の連絡先に直接照会していただきたい。

(4) CHAdeMO 協議会運営体制を見直しと「法人化」の経過

新幹事会員としてパナソニック(株)が追加承認された。今後, 幹事 9 社体制で活動を行っていく。

以 上